

令和 8 年 8 月

天草エアライン株式会社の経営状況を
説明する書類

熊 本 県

目 次

令和 7 年度決算に関する書類

- 1 事業報告・・・・・・・・・・ 1
- 2 収支決算書・・・・・・・・・・ 5
- 3 貸借対照表・・・・・・・・・・ 6

令和 8 年度事業計画に関する書類

- 1 事業計画・・・・・・・・・・ 8
- 2 収支予算書・・・・・・・・・・ 9

令和 7 年度決算に関する書類

1 事業報告

天草地域は、熊本県の中心地である熊本市からの移動に2時間以上を要するなど、地理的状況が離島地域と類似する条件不利地域である。そのため、平成12年3月から、熊本県、天草市、上天草市、苓北町等が出資をし、天草地域の唯一の高速交通機関として、天草エアラインが運航を開始した。現在、福岡空港、阿蘇くまもと空港及び大阪国際(伊丹)空港に就航しており、地域住民の生活、地域の医師確保を含めた地域のライフラインの一つとして必要不可欠な存在となっている。

令和7年度においても安全運航を第一に、平成30年度から日本エアコミューター株式会社(鹿児島県)に整備業務の管理を受委託することにより、長期運休の回避や整備品質の一層の向上を通じて、定時性の確保を図り安定運航に努めた。

運航状況については、被雷による機体損傷や梅雨時期の計画減便に加え、機長、副操縦士の退職により、運休便が310便(対前期▲24便)となった。また、欠航便は前期と比較して増加し就航率は85.5%(対前期▲4.1p)、運航便数は2,855便(対前期▲115便、96.1%)となった。

旅客需要については、前年度に比べ令和7年度はすべての路線において有償搭乗率が減少に転じ、就航率の低下も影響し利用者数全体も減少するなど、コロナ禍前の水準まで回復していない状況。(R7年度はH30年度比71.2%)

全体的な旅客需要の回復の遅れに加え、燃油・物価高騰の影響により、引き続き厳しい経営状況が続いているが、自社旅行業による地域イベントに合わせた旅行商品の造成、地域おこし協力隊によるPR動画やSNS等での情報発信などを通して誘客・利用促進を図った。

決算状況については、運航便数減や燃料単価の減少に伴い燃料費等は減少したが、10年目を迎える機体の大きな整備や社員の賃金改定を実施したこと等による費用の増加により経常利益は▲896,156千円(対前期▲100,836千円)となった。

特別利益の補助金収入として、県と2市1町で協調した経営支援や機材整備費補助金等で975,471千円を計上。

結果、税引前当期純利益は48,206千円、法人税等を差し引いた当期純利益は32,433千円となり、創業以来はじめて累損解消となった。

(参考) 過去5年の利用状況及び決算状況

(単位：人)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
利用者数 (有償旅客数)	37,958	51,906	63,843	57,992	52,543
利 用 率 (有償搭乗率)	25.7%	34.9%	40.5%	40.7%	38.3%
就 航 率	91.1%	87.1%	91.4%	89.6%	85.5%

(単位：千円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	主な増減理由（令和7年度-令和6年度）
売上高	497,270	614,945	899,756	837,945	957,789	
営業費用	1,380,685	1,542,119	1,530,268	1,653,590	1,870,905	路線事業原価+219,625千円 等（整備や人件費の増） 等
営業利益	▲883,415	▲927,174	▲630,512	▲815,645	▲913,116	有償旅客数5,449名減（▲54,600千円）、単価約809円増（+42,500千円） 等
営業外収入	2,669	22,282	18,808	20,325	17,377	
営業外費用	0	15,921	36	0	416	
経常利益	▲880,746	▲920,813	▲611,740	▲795,320	▲896,156	
特別利益	980,034	1,080,601	598,137	881,918	996,466	補助金収入の増加（機材維持費補助金（+104,070千円）、運航維持確保応援金（+34,402千円） 等
特別損失	66,849	58,340	0	76,513	52,104	固定資産圧縮損（当期の補助金で購入した固定資産のうち、補助金額が当期中に確定したもの）（▲24,409千円） 等
法人税・住民税及び事業税	9,766	20,578	489	777	15,773	
当期純利益	22,673	80,870	▲14,092	9,308	32,433	
繰越利益	▲81,835	▲965	▲15,057	▲5,749	26,684	

【会社の概要】

令和8年7月1日現在

1. 会社の名称等

- (1) 商 号 天草エアライン株式会社
- (2) 設立年月日 平成10年10月12日設立登記
- (3) 本店所在地 熊本県天草市五和町城河原1丁目2080番地5
- (4) 開 業 平成12年3月23日

2. 株式の状況

- (1) 発行可能株式総数 39,920株
- (2) 発行済株式総数 9,980株
- (3) 資本の額 100,000千円
- (4) 株主数 31名

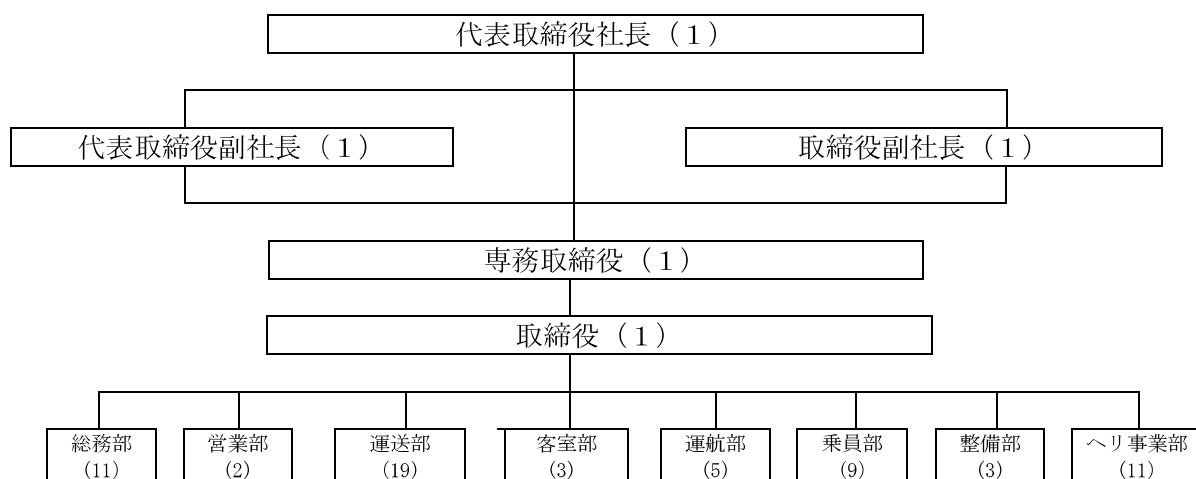
- (5) 株主の状況 (単位：千円)

区分	出資者	出資額	区分	出資者	出資額
自治体	熊本県	266,000	民間企業・団体	九州電力(株)	20,000
	天草市	114,400		(株)肥後銀行	20,000
	上天草市	13,600		(株)福岡銀行	10,000
	苓北町	6,000		日本航空(株)	10,000
				天草信用金庫	5,000
				熊本国際空港(株)	5,000
				九州産業交通ホールディングス(株)	3,000
				ほか地元関連20企業・団体	26,000
	小計	400,000		小計	99,000
合 計					499,000

3. 取締役及び監査役の氏名及び主な職業

職	氏 名	主な職業
代表取締役社長	山西 聡	
代表取締役副社長	馬場 昭治	天草市長
取締役副社長	受島章太郎	熊本県企画振興部交通政策・統計局長
専務取締役	寺田 宏之	
取締役	多田 収	
取締役	堀江 隆臣	上天草市長
取締役	山崎 秀典	苓北町長
取締役	小山 薫堂	放送作家、脚本家、会社社長
取締役	織田 正幸	九州産業交通ホールディングス(株)代表取締役社長
取締役	池崎 一彦	(株) 中村建設代表取締役会長
取締役	山川 秀明	熊本国際空港 (株) 代表取締役社長
取締役	田口 光平	(株) 熊本銀行常務執行役員
取締役	岩下 西紀	(株) 肥後銀行取締役常務執行役員
		(1 3 名)
監査役	田中 豊浩	天草信用金庫代表理事理事長
監査役	浦田 美紀	熊本県天草広域本部長
		(2 名)

4. 組織体制



※日本エアコミューター株式会社（JAC）との整備管理受委託開始に伴い、整備士 6 名が JAC 社へ出向の扱いとされ、総務部付となっている。（出向者は天草基地に配備。）

2 収支決算書

損益計算書

自 令和7年4月1日 至 令和8年3月31日 (単位：円)

【営業損益の部】

[営業収益]	
[売上高]	957,788,904
[営業費用]	
[売上原価]	
燃料費・整備費	885,846,365
事業労務費	332,226,276
事業諸経費	336,319,607
へり収入原価	213,060,535
その他収入原価	4,475,385
売上総利益（損失）	△814,139,264
[販売費及び一般管理費]	
販売費及び一般管理費	98,977,189
営業利益（損失）	△913,116,453

【営業外損益の部】

[営業外収益]	
受取利息	1,025,043
為替差益	4,824
雑収入	16,346,790
[営業外費用]	416,223
経常利益（損失）	△896,156,019

[特別利益]

補助金収入	975,470,735
補助金圧縮特別勘定取崩益	20,967,946
固定資産売却益	27,272

[特別損失]

固定資産除却損	40,509
固定資産圧縮損	20,966,952
補助金圧縮特別勘定繰入額	31,097,000

税引前当期純利益	48,205,473
法人税、住民税及び事業税	15,772,900
当期純利益	32,432,573

3 貸借対照表

令和8年3月31日現在

(単位：円)

資産の部		負債の部	
【流動資産】	794,998,613	【流動負債】	384,869,763
現金及び預金	528,644,715	短期借入金	0
営業未収入金	68,268,609	未払金	338,737,961
未収入金	87,323,290	前受金	27,852,280
貯蔵品	7,013,459	預り金	2,109,022
前渡金	38,916,899	仮受金	397,600
前払費用	2,779,173	未払法人税等	15,772,900
立替金	12,607,768		
仮払金	10,137,800	【引当金】	82,229,956
未収還付法人税等	0	退職給付引当金	48,320,456
未収還付消費税等	39,306,900	役員退職慰労引当金	2,812,500
		国庫補助金圧縮特別勘定	31,097,000
【固定資産】	184,805,938		
(有形固定資産)	(150,380,880)	負債の部合計	467,099,719
建物	13,264,872		
建物付属設備	605,142		
車輛運搬具	1,145,003		
器具及び備品	13,696,201		
構築物	1,444,667		
航空機	120,224,995		
(無形固定資産)	(3,517,678)		
電話加入権	1,747,200		
ソフトウェア	1,770,478		
(投資等)	(30,907,380)		
出資金	200,000		
敷金	0		
差入保証金	3,300,000		
長期前払費用	27,362,580		
預託金	44,800		
【繰延資産】	12,978,714		
開発費	12,978,714		
資産の部合計	992,783,265	純資産の部	
		【株主資本】	525,683,546
		(資本金)	(100,000,000)
		資本金	100,000,000
		(資本剰余金)	(399,000,000)
		資本準備金	399,000,000
		(利益剰余金)	(26,683,546)
		繰越利益剰余金	26,683,546
		純資産の部合計	525,683,546
		負債・純資産の部合計	992,783,265

財産目録

令和8年3月31日現在

(単位：円)

資産の部		
科 目	摘 要	金 額
現金及び預金		528,644,715
小 計		528,644,715
営業未収入金	クレジット、旅行代理店等の売掛金等	68,268,609
未収入金	補助金収入等	87,323,290
貯蔵品	GSE（地上支援機材）部品等	7,013,459
前渡金	航空燃料代前払金等	38,916,899
前払費用	航空機機器データベース更新料等	2,779,173
立替金	ヘリ燃料代等	12,607,768
仮払金	出張仮払い等	10,137,800
未収還付法人税等		0
未収還付消費税等		39,306,900
建物	機材部品整備用施設	13,264,872
建物付属設備	事務所間仕切り等	605,142
車輛運搬具	整備用車両等	1,145,003
器具及び備品	耐火金庫、防犯用ネットワークカメラ等	13,696,201
構築物	熊本空港のリニューアルに伴うアンテナ等構築費	1,444,667
航空機	ATR 残存価格（機体本体は圧縮記帳）、部品	120,224,995
電話加入権	N T T 専用回線（予約・運航等）	1,747,200
ソフトウェア	予約システム改修等	1,770,478
出資金	天草信用金庫、LLP、熊本県旅行業協同組合	200,000
敷金	社宅敷金	0
差入保証金	国際航空給油保証金等	3,300,000
長期前払費用	開発費より科目変更に伴うもの	27,362,580
預託金	社用車リサイクル預託金	44,800
開発費	コードシェア開発、シミュレーター改修	12,978,714
小 計		464,138,550
資産の部合計		992,783,265

負債の部		
科 目	摘 要	金 額
短期借入金	天草市からの短期借入	0
未払金	整備費用、地上業務委託費等	338,737,961
前受金	クレジット、旅行代理店等	27,852,280
預り金	健康保険料、厚生年金等	2,109,022
仮受金		397,600
未払法人税等		15,772,900
退職給付引当金		48,320,456
役員退職慰労引当金		2,812,500
国庫補助金圧縮特別勘定	当期の補助金購入資産圧縮のうち、翌期に補助額が確定した分	31,097,000
計		467,099,719

純資産の部		
資本金		100,000,000
資本準備金		399,000,000
繰越利益剰余金	当期末処分利益（損失）	26,683,546
	（うち当期純利益）	32,432,573
計		525,683,546

負債・純資産の部合計		992,783,265
------------	--	-------------

令和 8 年度事業計画に関する書類

1 事業計画

(1) 事業方針

令和8年度においても、法令や運航・整備規程等を遵守し、引き続き安全運航を第一に、定時性及び利便性の確保・向上に努めていく。

天草エアラインは、県外からの医師の通勤手段として利用されているなど、天草地域における社会活動、経済活動にとって重要な役割を果たしているが、航空需要がコロナ禍前の水準まで回復できていないことに加え、燃料・物価高騰により運航費用が増加していることから、昨年度に引き続き、今年度においても厳しい経営状況となる見込みであるため、県や地元自治体等の関係機関と連携し、ポストコロナを踏まえた各種利用促進策を推進する。

併せて、令和8年度に策定した中期経営計画に基づき、人材確保・定着やマーケティング機能等の組織体制の強化に取り組むとともに、インバウンドや関係人口の需要の取込み施策の検討・実証を進めることで強固な体制を構築し、地域とともに持続的に成長するエアラインを目指す。

また、EAS Alliance（地域航空サービスアライアンス協議会）を活用し、大手2社や地域航空会社との協業の促進・深化に取り組むことで、地域航空としての持続可能性を高める。

さらに、天草地域の少子高齢化の進行や人口減少といった外的環境の悪化、燃油・物価の高騰や慢性的な人材不足といった航空業界の環境変化など、厳しい経営環境が予測されることから、関係機関と一体となって安定運航の確保及び利用率の向上に向けた取組みを進める。

(2) 事業内容

ア 運航計画

天草～福岡3往復／日、天草～熊本1往復／日、熊本～大阪1往復／日

イ 利用促進

県・地元自治体をはじめ、天草空港利用促進協議会、地元観光協会、企業・団体、県人会等と緊密な連携を図りながら、利用促進活動を行う。

○ビジネス需要喚起

自治体、サポータークラブ企業、株主企業、各種団体等への訪問営業による情報や意見の収集と利用促進

○観光需要喚起

- ・天草空港利用促進協議会等と連携したイベント参加、SNS、動画、メディア等を活用した観光プロモーションで天草観光の情報を発信。
- ・首都圏の大手旅行代理店への商品造成営業、及び既存旅行代理店への新たな提案による商品内容の拡充。
- ・旅行業登録による、地域交流人口の拡大を促すツアーの実施。

○その他

地域のスポーツ大会等との連携・協賛、地域のイベントや新たな取り組みとの連携による交流人口の拡大等、スポーツ、文化・教育分野に関する利用者の需要創出を図っていく。

2 収支予算書

損益計算書

自 令和8年4月1日 至 令和9年3月31日 (単位：円)

【営業損益の部】

[営業収益]	
[売上高]	1,189,187,000
[営業費用]	
[売上原価]	<u>1,988,738,000</u>
売上総利益（損失）	△799,551,000
[販売費及び一般管理費]	
販売費及び一般管理費	<u>97,662,000</u>
営業利益（損失）	△897,213,000

【営業外損益の部】

[営業外収益]	0
[営業外費用]	<u>0</u>
経常利益（損失）	△897,213,000
[特別利益]	
補助金収入	899,056,000
特別利益合計	899,056,000
税引前当期純利益	<u>1,843,000</u>